学校だより

11月 すくすくくすのき

平成３０年　１１月１８日
阿武町立阿武小学校
８号

「通級指導教室から」

通級指導教室担当　藤 野　知 子

阿武小学校に、通級指導教室が設置されて早、１年半が過ぎようとしています。これも、保護者・地域の方々のご理解とご協力のおかげと感謝しております。

通級指導教室では、主に「自立活動」の学習をしています。自立活動の指導内容には、**健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーションなど**があります。個々の子どもの状態に応じた適切な学習方法を見つけていきます。

通級指導教室には様々な子どもが通ってきます。例えば、話をすることが苦手な子、話を聞くことが苦手な子、コミュニケーションが苦手な子、環境調整が必要な子（聴覚、視覚、感覚に過敏がある子）読む・書く・計算などの特定の分野に苦手がある子などです。

苦手なことがない人などこの世にひとりもいません。誰しも自分の苦手に向き合うことは辛いことです。しかも、１対１で４５分間学習することは集中力、体力共に結構きついことです。それでも子どもたちはその苦手にしっかりと向き合っています。本当に立派だなあと思います

私は、子どもたちと週１回または２週間に１回会えることを楽しみにしています。子どもたちから、「今日は通級ありますか？」「楽しみでたまらないよ。」という声を聞くと、うれしくなります。周りの子どもたちも、学年の教室を出る時に「いってらっしゃい。」「通級のお勉強、がんばってね。」と優しい声をかけたり、通級指導教室の前を通る時は、おしゃべりをせず静かに歩くように気をつけたりしています。阿武小の子どもたちの協力もあって通級指導教室で、通級児たちは毎週がんばっています。自分を見つめ、向上しようと努力を続けている子どもたちをこれからもどうぞ応援してください。

《子どもの良いところを見つけよう。》
～苦手を強みにするリフレーミング～

地域の方々、保護者の皆さんは、**「リフレーミング」**という言葉をご存じでしょうか？

今回は、子どもの育て方を一つお伝えしたいと思います。**「リフレーミング」とは、「視点を変える」または「物事を見る枠組み（フレーム）を変えて別の枠組みで見直すという意味があります。**

どんな物事にも見方を変えると前向きな面が必ずあります。問題やトラブルをなかったことにすることはできませんが、物事の見方を変えて、肯定的な意味や価値を見い出し伝えることが大切です。とかく大人は子どものできていない部分に目を向ける傾向があるようです。できないところをできるようにすることももちろん大切ですが、度を超すと子供の自己肯定感を下げてしまいます。（どうせぼくなんて・・・と思わせないことが大切です。）今日からお子さんの見方をちょっとだけ変えてみましょう。

リフレーミング　例

・口下手　→　聞き上手･思慮深い・よく考えている・物静か
・落ち着きがない　→　好奇心旺盛・行動力がある・よく気がつく・活発
・意志が弱い　→　柔軟性がある・人の意見をよく聞く・寛容
・おとなしい　→　落ち着いている・冷静・物静か･思慮深い
・こだわる　→　信念が強い・自分の考えを持っている

ほめかたのコツ

・**短く太く**「すごい。」「それだよね。」

・**他の人を使う**「〇〇さんもほめてたよ。」

・**時間差で**ほめる（そういえばあのときも）

・結果でなく**行動をほめる**

・**大人が上機嫌**でいる

・**子どもの顔を見て繰り返し**伝える

・**ほめほめタイム**（毎日ほめる時間を決めてほめるところを見つける。）

もちろん、ほめてばかりでは、育ちません。いけないことはいけないと教えることも大切です。ほめなければ動かない子どもを育ててしまう危険もあります。

ほめてできるようになったら、少しずつ減らしてみてください。ほめられなくても行動できる子に育つといいですね。

私たち大人も、子どもにとって安心できる居場所になれるように成長したいです。

切り取り

ご要望・ご意見欄

学校へのご要望・ご意見がございましたら、下記にご記入の上、切り取ってご提出ください。

学年または地区（　　　　　　）お名前（　　　　　　　　　　）